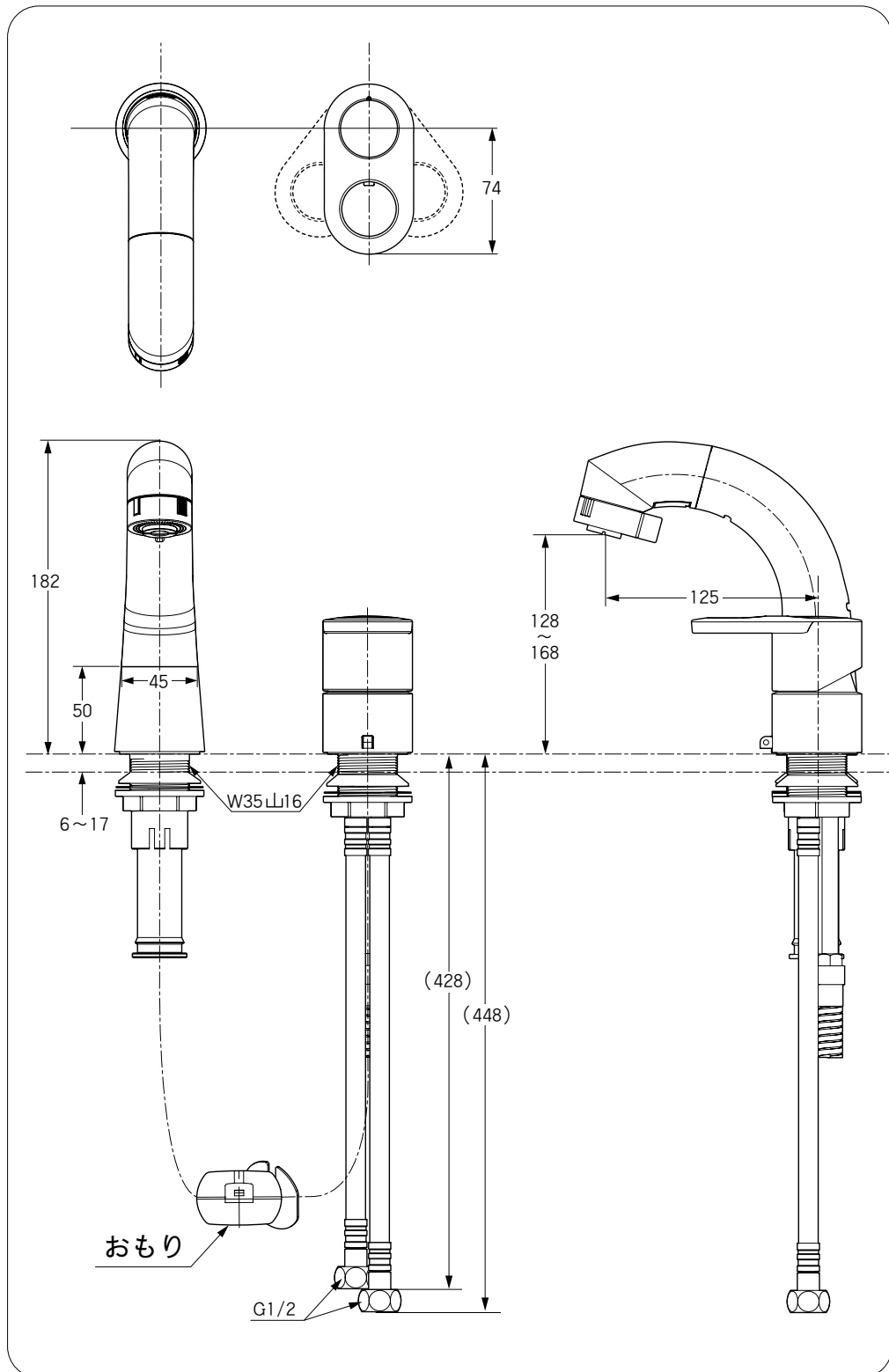


ホース収納式シングルレバー 洗髪シャワー混合水栓

FP285-1 10.06

●商品図



●安全上のご注意

- 施工前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しく施工してください。
- ここに示した注意事項は、状況によって重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも、安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。
- 施工完了後、正常に作動することを確認するとともに、取扱説明書にそってお客さまに使用方法、お手入れの仕方を説明してください。
- この施工説明書は、取扱説明書と共にお客さまで保管頂くように依頼してください。

⚠ 注意

湯水を逆に配管しないでください。 ※ 水を出そうとしても、湯が出てヤケドをすることがあります。	⊘
お客さまに引き渡す前に凍結が予想される場合は水を抜いておいてください。 寒冷地仕様の水抜方法は、取扱説明書を参照ください。 ※ 凍結破損で漏水し、家財等を濡らす財産損害発生のおそれがあります。	!

●使用条件

- 給水、給湯圧力は以下の条件を守ってください。
[ガス給湯器(比例制御式：16号相当)と組み合わせる場合]
給水圧力 最低必要圧力 ……A+0.05MPa{0.5kgf/cm²}
最高圧力 ……………0.75MPa{7.6kgf/cm²}
Aはガス給湯器の最低作動圧力です。

- 測定条件
 - ※ レバーハンドルは全開です。
 - ※ ガス給湯器との組合わせ条件が最も悪い冬期条件(給水温度5℃、吐出温度42℃)によるものです。
 - ※ 給水圧力はガス給湯器直前における流動時の静水圧です。
 - ※ ガス給湯器の温度調節は最高温設定です。
- [貯湯式温水器と組み合わせる場合]
給水・給湯圧力 最低必要圧力 ……0.05MPa{0.5kgf/cm²}
最高圧力 ……………0.75MPa{7.6kgf/cm²}
- 温度調節が容易で使い勝手をよくするために、給水圧力と給湯圧力の差を小さくしてください。
- 給水圧力が0.75MPa{7.6kgf/cm²}を越えるような高圧の場合は、市販の減圧弁で0.20MPa{2kgf/cm²}程度に減圧してください。
- 給湯に蒸気は使用できません。

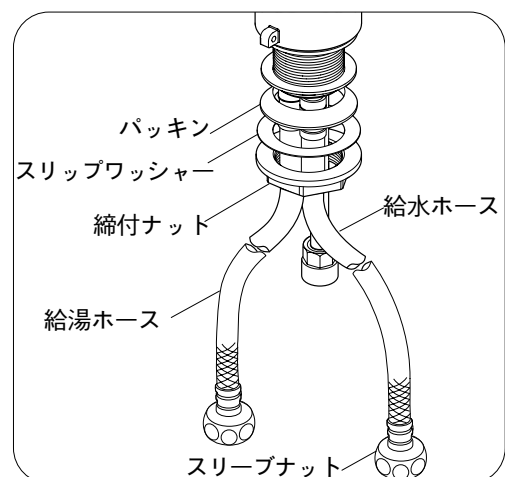
●施工前のご注意

- 給水は上水道に接続してください。
※ 温泉水など異物を多く含む水には使用できません。
- 給水配管が右側、給湯配管が左側に配管されていることを確かめてください。
※ 逆配管では表示通りに湯が出ません。
- 給湯配管はできるだけ短くし、必ず保温材を巻いてください。
- 取付けに必要な専用工具(KG-9)を用意してください。
- 開梱、取付けの際には商品の表面にキズを付けないように十分注意してください。
- 取付け後の保守点検のために必ず止水栓(別売)を設けてください。
- 必ず配管中の異物を完全に洗い流してください。
- 給水・給湯用止水栓の取出位置は化粧台の施工寸法に準じてください。

●施工方法

1. 本体部の取付け

- (1) 水栓本体に付いている締付ナット・スリップワッシャー・パッキンを取り外し、本体をカウンター穴に挿入します。



- (2) レバーハンドルが正面を向くように締付ナットで固定します。
※ 別売の専用工具(KG-9)を使用してください。

